

取組1 健康づくりの推進

取組の評価 3.1 概ね順調

＜取組1の基本方針＞
1 日常的な運動習慣の定着
2 望ましい食習慣の定着
3 禁煙の推進
4 早期発見・早期治療体制の強化
5 地域で取り組む健康づくりの推進
6 心の健康づくりの推進

【取組の目的】 市民自らが健康的な生活習慣を身につけることを支援し、生活習慣病の発症を予防します。

『取組』に係る社会の動向と本市の現状

1 社会の動向

- ◎ 生活習慣病は、生活の利便性向上や嗜好の多様化とともに、運動不足や栄養過多など、様々な要因が関連している。そのような状況の中、国では『健康日本21』で2012年を目標とした栄養・食生活、身体活動・運動、糖尿病、がん等に関する達成すべき数値目標掲げて、国民健康運動として生活習慣病の予防を推進している。その背景としては、生活習慣病が健康長寿の最大の阻害要因となるだけでなく、国民医療費への大きな影響が挙げられる。
- ◎ また、生活習慣病の主な原因は、不健全な生活の積み重ねによる内臓脂肪型肥満により引き起こされるものであり、個人が実践できる予防対策として、『運動施策の推進』、『栄養・食育対策の推進』、『たばこ対策』を具体的な取組プログラムで示している。
- なお、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）等の該当者・予備群については、保健指導を徹底するため、平成20年4月から40歳以上の被保険者・被扶養者を対象とした、健診及び保健指導の事業実施が保険者に義務づけられている。
- ◎ 平成23年7月に厚生労働省が精神疾患を“がん”、“脳卒中”、“心臓病”、“糖尿病”と並ぶ『5大疾病』に位置づけ、精神医療の充実を重点対策とすることが決定されている。平成23年の自殺者は、14年連続で3万人を超えており、国民一人ひとりの気づきと見守りを促す取組や心の健康づくりを推進する取組などの自殺予防対策が必要になっている。

2 本市の現状（主な取組）

- ◎ 『保健・医療・介護構想』の具現化のため、健康指導センター【学校・地域での健康教育、生活習慣病・認知症重症化の予防、地域連携でのメンタルヘルスケア】、健康支援センター【総合相談、健康の見守りネットワーク】の構築など、総合的な健康支援システム拠点として、現市民病院施設を整備していく。
- ◎ 『健康づくり計画・後期計画』において、“糖尿病予防対策の推進【糖尿病予備群ゼロ作戦】”，“禁煙推進と受動喫煙防止環境の整備”，“総合的に健康を支援する環境整備の推進”を重点項目として、健康づくりを推進している。
- ◎ 健康チャレンジ!!すまいる運動「健康マイレージ制度」を展開し、健康づくりの実践状況をポイント化し、ポイントの寄付や公共施設利用券と交換する仕組みを普及させ、健康づくりの動機付け・運動習慣の定着化を図っている。
- ◎ 身近な場所（公会堂や公民館単位）での健康教室の開催をはじめ、自治会ごとに健康づくり推進員を配置することにより、地域での健康づくり活動の推進や意識の醸成を図っている。
- ◎ 『第2次食育推進計画（H23～H27）』において、“家族や仲間と楽しく食事をとることの推進”，“生活習慣病予防のための野菜摂取の推進”を重点項目として、食育を推進している。

『取組指標』の分析と評価結果

1 取組指標の評価 【※ 実績値は、各年度末における最新数値】 評価結果の平均値（A） 2.0

＜評価基準＞ 4：達成率 ≥ 100・前年比伸び率 ≥ 0％ 3：達成率 ≥ 100・前年比伸び率 < 0％ 2：達成率 < 100・前年比伸び率 ≥ 0％ 1：達成率 < 100・前年比伸び率 < 0％

番 号	指 標 名	項 目	現状値（計画）	H22	H23	H24	H25	H26	H27
1	特定健診で内臓脂肪症候群該当者及び予備群者の割合【％】	目 標 値	－	(男) 25.1 (女) 11.3	25.1 11.3	25.1 11.3	25.1 11.3	25.1 11.3	25.1 11.3
		実 績 値	33.5 15.1	(男) 34.8 (女) 14.0	33.3 14.3				
		達成率	伸び率	－ (男) 72.1 － (女) 80.7	－ (男) 72.1 － (女) 7.2	75.3 79.0	4.3 ▲ 2.1		
		評 価		－ (男) 1 － (女) 2	1 2	2 1			
2	特定健診で「糖尿病が強く疑われる人」の割合【％】	目 標 値	－	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1
		実 績 値	10.1	11.4	10.4				
		達成率	伸び率	－ 79.8	▲ 12.8	87.5	8.7		
		評 価		－ 1 － 2	1 2	2 1			
3	★日常的に運動（身体を動かす）習慣のある人の割合【％】	目 標 値	－	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
		実 績 値	35.7	30.6	29.6				
		達成率	伸び率	－ 76.5	▲ 14.2	74.0	▲ 3.2		
		評 価		－ 1 － 2	1 2	2 1			
4	★食生活で心がけていることがある人の割合【％】	目 標 値	－	69.3	69.3	71.6	73.9	76.2	78.5
		実 績 値	69.6	67.1	75.9				
		達成率	伸び率	－ 96.8	▲ 3.5	109.5	13.1		
		評 価		－ 1 － 2	1 2	2 4			

- 【指標に影響を与えた主な要因】
- ◎ 特定健診で「糖尿病が強く疑われる人」の割合は、11.4％→10.4％と減少傾向にあるものの、目標値は下回っている。
- ◎ 市民意識調査結果のうち、“日常的な運動習慣”や“ウォーキングの実践”については、30～40歳代で実行できていない割合が高く、仕事や育児などによる制約が主な原因と考えられる。
- ◎ 市民意識調査結果のうち、“食生活で心がけていることがある人の割合”は、すべての年代で伸びており、食育や健康に対する意識の向上が図られている。

2 指標で表すことが困難な成果

- ◎ 身近な公会堂や公民館単位で健康教室を実施することにより、広く市民に対して健康づくりや介護予防を促す、機会の提供を行った。また、各自治会ごとに配置している健康づくり推進員は、健康教室の自主的な企画・運営を通して市と地域のパイプ役となり、地域での健康意識を高める気運を醸成している。
- ◎ 小学校や幼稚園・保育所で出前講座などを行い、子どもたちに食物の大切さやマナーなどを伝えることが出来た。また、食育を国民運動として推進していくため、国や県が主催した“第6回食育推進全国大会”において、本市が『糖尿病予備群ゼロ作戦』として重点的に取り組んでいる“糖尿病予防”について、食育に関する実践内容を紹介した。

『主要事業』に係る事業評価表の評価結果

1 主要事業の評価

番 号	主 要 事 業 名	H23 事業費 【千円】	事 業 評 価 表 の 評 価 結 果			
			有 効 性	効 率 性	廃 止 の 影 響	
			4. 有効 3. 概ね有効 2. 一部有効でない 1. 有効でない	4. 効率的 3. 概ね効率的 2. 一部効率的でない 1. 効率的でない	4. 影響あり 3. どちらでもない 2. 影響ない 1. 代替手法がある	
1	保健衛生施設維持管理事業	11,654	3	2	4	
2	健康運動リーダー養成講習会開催事業	49	4	4	4	
3	健康貯筋教室開催事業	1,260	4	4	3	
4	健康チャレンジ!!すまいる運動「健康マイレージ制度」	2,804	3	3	3	
5	予防医学健康塾開催事業	204	4	4	1	
6	出前(公会堂・公民館・事業所)健康教室開催事業	1,457	4	4	4	
7	地域ヘルスプロモーション事業（地域健康寺子屋事業）	176	4	4	4	
8	食育推進事業	2,681	3	3	4	
9	食育クッキング事業	668	3	1	1	
10	食育出前講座事業	196	4	3	4	
11	健康相談事業	1,186	4	2	4	
12	集団健康教育事業	500	3	3	4	
13	すまいるプログラム（糖尿病徹底予防事業）	2,293	4	4	4	
14	訪問健康指導事業	211	4	3	4	
15	禁煙・分煙推進事業	61	4	4	4	
16	小児生活習慣病予防事業	1,109	4	4	4	
17	各種検診・検査事業（成人検診費）	107,427	4	3	4	
18	特定検診診査等事業	88,268	4	4	4	
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
評価結果の平均値（B）		3.5	3.7	3.3	3.6	

